

短歌

末武 有二 選

ボール追ひ大接戦に息を飲む中体連のバスケットの試合

安永 守住 孝子

八重咲きのくちなしの花庭先に純白美しく香り漂う

惣領 島田 廣子

輪つなぎを飾りエツヘン得意顔笹竹見上ぐるやんちゃ坊主よ

木山 本田 龍子

友とゆく温泉巡り心待ち古希を過ぎての楽しみとなり

江津 高田美佐子

雨上がる草の生命と競争で抜き取り作業小さきものまで

宮園 島 みつき

数々の民話が残るわが町よ語り継ぐのも我等の勤め

赤井 増岡 伸禧

暑き日に芙蓉真白遥かなる母の日記に昭和回顧す

赤井 鈴木 駒

人権も自由と平和奪われるみんなを守る自覚を持つとう

木山 西田 正巳

猛暑の日涼しく泳ぐメダカさんしばらく眺め涼をもらえり

広崎 日野ヒロ子

この道を二人で歩くその日まで待ち遠しいと見るイメーシ図

宮園 秋月 充博

真っ白な月が校庭眺めてる陽はまだ落ちぬ彼岸入りの日

益城 詠み人知らず

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

でで虫をいきなり叩く雷雨かな
梅雨明けや三十八度のセミの声

熊本市 境 眞木子

ほおばれば果汁の甘さミントマト
沢蟹がか細いハサミ振り上げる

惣領 野々口トミ子

梅雨晴れや芝がまぶしいゴルフ場
探してもどこへ消えたかへビトカゲ

木山 本田 龍子

蒸し暑さ冷麺すすり暑気払い
ひっそりとどくだみの花空屋敷

赤井 増岡 伸禧

夏まつりかつぱの下駄のころやかさ
※7月号の俳句において、一句鑑賞の作者名の記載に誤りがありました。おわびして訂正します。

今村 恒心

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠

プーチンの顔みりやすぐに消すテレビ
うんちダメの看板ヤブからのぞいてる
熱中症に気配り目配り保育園

団地のママ
赤井の楽山
保育士のあっこ

短冊に「くわがた来てね」と頼む孫

木山の龍子

『お題』 祭り

大歓声子供相撲の五人抜き
居酒屋はチャンキおけさで盛り上がる
四賢婦人むすめ盛りのあで姿
来年の祭り待たれる町の声

赤井の酔粋
のれんの神様
待ばけ若衆
仕かけの三尺玉

次回のお題 「潮井水源」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

広島

ぜんのおじ
広島禪王寺の観音堂

広島地区に「禪王寺」という小字があり、地名の由来となるようなお寺の存在がうかがえます。今では、住宅が立ち並びその面影もありませんが、禪王寺の境内にあった観音堂跡が残っていることを知っていますか？

禪王寺については、分かっていることが少なく、古老によると建てられたのは450年前。境内の広さは5反余り、外側には濠が巡る由緒のあるお寺だったようです。戦国期になると小西行長に全てを焼かれ、お堂が再び建てられましたが、明治25(1892)年の祭礼の夜、線香の火から火災が起り、全焼。石塔などの石造物だけが残りました。

その後、仮御堂が建てられましたが、経年変化のため、石堂に建て替えられ、地域で大切にされて